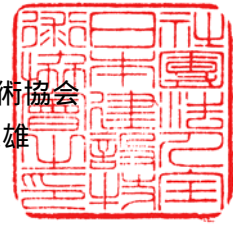


全建発第17～272号
平成17年12月1日

（機関管理者） 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第510回建設技術講習会(災害復旧)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員8万5千名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められております。

このたびの第510回建設技術講習会では、河川、港湾、海岸、道路等の公共土木施設の災害復旧事業について、災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、申請のポイント、災害査定の際の留意事項、災害復旧事業と一体となる改良復旧事業の計画手法などについて学ぶことを目的としております。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬具

全建発第 16 ～ 310 号
平成 17 年 1 月 4 日

(各地方協会長) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 北 橋 建 治
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成 17 年度の講習会参加について (お願い)

本会の建設技術講習会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められ、職員研修の果たすべき役割は従来にも増して重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成 17 年度の建設技術講習会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に携わる方々にとって、業務に直接役立つ講習内容としており、講師には建設行政や建設技術等の各分野において第一線で活躍の方々を迎えています。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第 510 回建設技術講習会（災害復旧）日程

- 河川、港湾、海岸、道路等の公共土木施設の災害復旧事業について、災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、申請のポイント、災害査定の際の留意事項、災害復旧事業と一体となる改良復旧事業の計画手法などについて学ぶ -

会場……香川県県民ホール アクトホール

〒760-0030 香川県高松市玉藻町 9-10 TEL 087-823-3131

1 日目 平成 1 8 年 2 月 1 日（水）			敬称略
10：00 ～ 10：20	あいさつ "	香川県知事 高松市長	真 鍋 武 紀 増 田 昌 三
10：20 ～ 10：50	平成 1 7 年の発生災害とその状況	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	金 内 剛
11：00 ～ 12：00	災害復旧事業採択ルールについて（１）	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	金 内 剛
13：00 ～ 14：20	災害復旧事業採択ルールについて（２）	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	金 内 剛
14：30 ～ 15：30	【特別講演】 野球にかける想い	四国アイランドリーグ 代表 （元 西武ライオンズ）	石 毛 宏 典
15：40 ～ 16：40	私たちはどのようにして台風災害と闘ったか	兵庫県豊岡市長	中 貝 宗 治
2 日目 2 月 2 日（木）			（敬称略）
9：50 ～ 10：35	港湾関係災害復旧事業の要点	国土交通省港湾局海岸・防災課 災害査定官	入尾野 幸 雄
10：45 ～ 11：30	水産関係土木施設災害復旧事業の要点	水産庁漁港漁場整備部防災漁村課 災害査定官	佐 野 文 敏
11：30 ～ 12：00	【地域における技術苦労話】 香川県での平成 1 6 年災害	香川県土木部河川砂防課 副課長	藤 澤 一 仁
13：00 ～ 14：20	災害復旧事業の実務 ～災害査定の実際～	国土交通省河川局防災課 災害査定官	野 中 聡
14：30 ～ 15：50	改良復旧事業の進め方	国土交通省河川局防災課 課長補佐（改良技術）	藤 山 究
15：50 ～	閉会のあいさつ	香川県建設技術協会長 （香川県土木部長）	谷 宣 璋
地域の独自調査			

本講習会は、現場研修会がありません。
講習会日程は都合により、講師・講義内容などに変更が生じる場合があります。

第 510 回建設技術講習会の宿泊斡旋のご案内

宿 泊 料 金：宿泊希望者には高松市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
 宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
 送 金 先：㈱日本旅行 東京法人営業部 Tel 03(3593)0321 Fax 03(3593)0688
 〒105-0004 東京都港区新橋 2-16-1（ニュー新橋ビル 9F）

銀行口座 みずほコーポレート銀行 十五号支店
 (普)№3103576 名義 ㈱日本旅行

お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「510」をつけ加えて下さい。
 問い合わせ先：㈱日本旅行 東京法人営業部 Tel 03(3593)0321「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 18 年 1 月 20 日(金)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 18 年 1 月 27 日(金) までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舍名、宿泊料

平成 18 年 1 月 31 日(火)・2 月 1 日(水)

(1 泊朝食付、サービス料・消費税含む)

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	高松東急イン	高松市兵庫町 9-9 TEL: 087-821-0109 JR 高松駅より徒歩 10 分	シングル	20 名	9,800 円
B	高松ワシントンホテルプラザ	高松市瓦町 1-2-3 TEL: 087-822-7111 JR 高松駅より徒歩 15 分		50 名	8,200 円
	ロイヤルパークホテル高松 アネックス	高松市福田町 11-1 TEL: 087-823-1111 JR 高松駅より徒歩 20 分		50 名	8,000 円
宿泊斡旋人数合計				120 名	

宿舍が決定次第、㈱日本旅行より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

会場・宿舍案内図



第510回建設技術講習会（災害復旧）申込書

<個人情報の取扱いについて>
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現場研修	宿泊予約金	
(フリガナ) 氏名 (参加者が女性の場合は番号に○囲みして下さい)	年齢		正会員	非会員			予約日にA・Bを 記入して下さい	
1							1/31	2/1
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
聴講料							宿泊予約金	
正会員・特別会員・賛助会員			名 × 9,800円 =		円	泊 × 4,000円		
" (昼食不要)			名 × 8,200円 =		円			
正会員(地元(香川県内))			名 × 3,000円 =		円			
" (昼食不要)			名 × 1,400円 =		円			
正会員(地元)とは、香川県内に勤務(出先事務所を含む)の正会員								
非会員			名 × 14,800円 =		円			
" (昼食不要)			名 × 13,200円 =		円			
計							円	計
							円	円

↓ 全建に振込

↓ 日本旅行に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕
お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03 - 3586 - 6640 迄

〔聴講時の昼食について〕
昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。